

地域支援事業

介護予防を目的とした地域支援事業は、現在取り組んでおります通所型介護予防事業に加え、健康体操教室や介護予防教室を新たに開設するなど、メニューの充実拡大に努めます。また、特定高齢者に対しては、保健師等による訪問指導を行うことにより、生活改善への動機づけを支援してまいります。



居宅介護サービス等事業

平成20年度当初予算では、平成17年度と比較して約1360万円の歳出の抑制を図っておりますが、赤字解消は見込めていない状況です。収入の増を図るために、介護サービスの件数を増やしていくことが必要ですが、サービス内容の拡大など難しい課題があり、事業所の存続の可否も含め検討すべき時期にきていますと考えております。



昨年と比べてどうなの？



比較で見る新年度予算

☞ 平成20年度予算 check 1

一般会計	46億2037万8千円
特別会計	22億2559万8千円
	68億4597万6千円

【コメント】平成20年度の一般会計と特別会計の合計総額は、68億4597万6千円です。一般会計は46億2037万8千円で前年と比べると、4.2%の減少となり5年連続の緊縮予算となりました。

☞ 一般会計の歳入 check 2

町税	11億3925万7千円	(1.1%減少)
地方交付税	19億4482万1千円	(0.7%増加)
基金繰入金	7465万6千円	(70.7%の減少)

【コメント】基金繰入金の減少幅が大きいのは、地方債の繰上償還（鉱害復旧かんがい排水施設維持管理基金の運用）と人件費の抑制によるものです。

☞ 一般会計の歳出 check 3

社会補償関係経費	11億3925万7千円	(4.3%増加)
職員人件費	9億1544万2千円	(9.9%減少)
公債費	6億3890万3千円	(21.9%減少)

【コメント】公債費の減少幅が大きいのは、地方債の繰上償還によるものです。また職員人件費の減少は、平成20年3月末に職員等（12人）の退職、及び新規採用（4人）に伴うものとなっています。

社会福祉協議会

現在は総合福祉センターの中にありますが、本来、社会福祉協議会は独立した法人格を持つており、現状にはなじまない点が多くあります。このため、桂寿苑に移転したいという希望が出ておりますので、平成20年度からの移転に向けて、その準備をしているところです。



学校教育

児童生徒の規範意識を高め、豊かな心を育み、学力の向上を図るため、学校・地域・家庭が一体となった取り組みを進めていくとともに、幼小中の連携を深め、児童生徒の健全育成を基本において、事業を展開していきます。また、教育環境の整備充実を図って行きたいと考えています。



生徒指導総合連携推進事業

2年間の指定を受けて取り組んできましたこの事業の趣旨を受け継ぎ、継続して取り組んでまいります。児童生徒や先生たちが授業に集中できる環境を作り、学力の向上につながる学習意識を高めていただきたいと思います。

